

## 事業所における 自己評価結果（公表）

公表：平成 31 年 1 月 26 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」北長野校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0	法令を遵守したスペースを確保しています。	
	②	職員の配置数は適切である	4	0	法令で必要とされる配置数に加え、指導員又は保育士を1名以上配置しています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	0	お子さんが楽しく過ごせるよう、楽しく取り組むことができるような教材を取り入れています。機能訓練室は、お子さんの注意集中のため、飾りつけなどをせず、極力シンプルな内装としております。	教室外のわずかな段差やトイレ内の手すりなど、車いす利用の方への対応は今後の課題です。また、環境の構造化は、これで充分ということはなく、常に見直していく必要があると考えています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	0	毎朝の掃除や適宜換気を行い、心地よく過ごすことができるよう心掛けています。児発用椅子や足台を手作りし、使いやすい教室環境を目指しています。	新しくできた教室のため、今は全体的に清潔な状態です。この状態をこれからも保っていくことができるよう努めていきます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	0	日次・週次で全職員参加の検討会を行い、見直しに努めています。	今後、他教室の方のご意見などもいただきながら、更なる改善に努めてまいります。

	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	1	保護者の方の満足度調査アンケートを実施しましたので、その結果を今後の業務改善に生かしていきます。	教室が開校して3か月したところで、初めて評価をいただきました。結果を分析して教室の問題点を明らかにするとともに、今後に生かしていくつもりであります。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	2	当教室の評価表も、当社HPにて公開します。	当教室ではじめての評価であり、結果を真摯に受け止め、今後の支援に生かしていきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	0 無答 2	現在は、利用者・社内の2者評価をしております。	第三者による外部評価の実施予定は今のところありませんが、今後必要に応じて実施を検討してまいります。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	1ヶ月の初任者研修を実施し、その後もすべての職員に継続的に研修を行っています。	社外の研修会も含め、積極的に研修会に参加していきます。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	0	6ヶ月に1回以上アセスメントを行い、個別支援計画の見直しを行っています。	左記のアセスメントに加え、毎回の支援や保護者の方との面談の中でもニーズをとりえ、個別支援計画に反映していくよう努めます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0	統一したアセスメントシートを使用しています。	アセスメントシートの内容についても、今後検討していきます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	0	ガイドラインを受けて個別支援計画を作成し、この計画をもとにして毎日の支援計画を立てる、という流れで行っています。	支援内容の適切な選択がなされているか、日々振り返って検討していくことを大切にしていきたい、と考えています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0	指導員と児発管が意見を出し合いながら支援計画を	計画がお子さんや保護者の方のニーズに合ったわかりやすいものになっているか、支援

				立て、日々の支援を行っています。	内容と合っているか、絶えず見返していくよう努めます。
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	お子さんの様子を共有・議論する検討会を、支援終了後に毎回行っています。	お子さんが他の教室も使っている場合、支援者会議等で得た情報を職員で共有しながらプログラムを立案することを、今後も続けていきます。
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	お子さん一人ひとりの特性や気持ち・興味に合わせて、効果的に楽しく学べる支援を目指しています。	次の学びにつながる成功体験を重視し、やらされるのではなく、お子さまが自発的に学んだり適切な行動をとったりするような支援になるよう努力していきます。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4	0	個別活動を中心にしながら、お子さんの実態に合わせて集団活動の要素も取り入れて支援できるよう計画を立てています。	その集団活動によってねらう力を明らかにし、集団活動参加への誘いを積極的に行っていくことで、個別活動と集団活動のそれぞれの良さを生かすことができる支援となるよう努力していきます。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	支援日には朝礼を実施し、職員間で情報共有を行っています。	
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	全職員が参加する振り返りの会を行い、情報を共有しています。	
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	毎回支援記録をとって見直すことで、お子さんの成長や取り巻く環境の変化に合った支援内容になるよう努めています。	支援記録はファイルに保管し、職員間で話し合ったことも記録に残しておき、次回の支援に生かしています。今後も丁寧に記録を取るよう心掛けていきます。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0	お子さんの様子や保護者の方のお	お子さんの様子の変化をつかんだり、保護者の方からお話

				話、職員の打ち合わせを元に、計画が妥当か否かを絶えず検討するよう心掛けています。	を伺う時間をできるだけ多く確保したりすることで、見直しの必要性を的確に判断していくよう努めています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0	教室内の全てのスタッフがお子さんの状態を把握しチームで支援を行っており、会議には児童発達支援管理責任者と支援を担当するスタッフ1名程度で参画するようになっています。	
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	0	関係諸機関と緊密に連絡を取り合いながら進めてきております。	これからも積極的に連携をとるよう努めます。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	無答 4	医療職スタッフがいないため、医療的ケアが必要なお子さんの受け入れに際して、主治医等のご意見を確認した上で慎重に判断しています	これまでのところ、医療的ケアの必要なお子さんとの契約がありません。ただ、今後医療的ケアが必要になる場合も考えられますので、場に応じた対応方法について考えていく必要があると考えています。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	無答 4	今後、必要に応じて検討していきます。	
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	無答 1	幼稚園や保育所を頻繁に訪問することで、情報共有や相互理解を図ってきています。	園への訪問や支援会議などを通して、情報共有と相互理解を深めるよう、今後も努めていきます。

②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	無答 1	小学校や特別支援学校を訪問し、情報共有や相互理解を図っています。	学校訪問や支援会議などを通じて、今後も各校とのつながりを強めていきます
②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	0	外部専門家による研修や教材・プログラムの監修をおこなっています。	今後も他の機関が主催する研修会等に積極的に参加し、助言をいただくようにしていきます。
②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	3	現在のところ、お子さんが所属する園と職員との交流はあっても、障害のないお子さんと活動する機会はありません。	今後、このような機会を作ることが可能かどうかも含め、検討していきます。

②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	3	地区の協議会に参加したことはありますが、その他の会議についてはまだ確認できていません。	このような会が開催される場合には、積極的に参加するつもりであります。
③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	毎回の支援の後、保護者の方へのフィードバックの時間を設けています。	これからもお子さんの様子について丁寧にお伝えするよう心掛けていきます。
③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	2	1 無答 1	支援後のフィードバックで、家庭での対応方法について話し合っています。	職員がペアレントトレーニングについて、より適切な情報提供を行ったり、ペアレントトレーニングについての更に深い知識を習得したりするために、研修を深めていきます。
保護者へ ③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	契約時にご説明するとともに、事業所内に重要書類を掲示しています。	内容についてのご指摘等をいただいた場合には、丁寧に対応するよう心掛けます。

の 説 明 責 任 等	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	0	契約時やアセスメント後に説明を行い、同意を得ています。	今後も、お子さんの困り感や保護者の方のご希望にあった支援計画を作成し、丁寧にご説明するよう努めます。
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	支援後のフィードバック時に相談に応じているのに加え、支援中に支援のない職員がお声がけするなど、話しやすい雰囲気づくりに努めています。	保護者の方のお気持ちを受け止めることができるよう、今後も話のしやすい雰囲気づくりに努めています。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	1	これまで保護者会を開催していませんが、保護者の方同士のつながりを作る機会は作り始めています。	「ママ・カフェ」など、他教室の例も参考にしながら、今後連携支援の在り方を検討していきます。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	受付者や解決責任者を選任しておりますが、職員全員が迅速に対応するよう心掛けております。	いただいた申し入れや相談、苦情に対しては、迅速かつ適切に対応していきたいと考えています。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	1 無答 1	教室内に活動内容やイベント案内を掲示したり、ブログを定期的に更新したりしています。	会報の発行予定は、今のところありません。ブログの更新を今後も頻繁に行い、行事や教室の様子を発信していきます。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	4	0	個人情報が記載された書類は鍵付きキャビネットに保管し、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定する等、適切	個人情報の管理に問題はなにかについて、パソコンのデータ流出の危険性も含め、今後も細心の注意を払っていきます。

				な対応を行っています。		
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	お子さんの状態に応じ、ICT やその他の視覚的情報なども活用しながら意思疎通・情報伝達等を実施しております。	どのようにお伝えするのがよいかについて、お子さんの様子や保護者の方のご意見も考慮しながら今後も検討していきます。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3	どなたでも参加できる無料相談イベントなどを開催しております。	地域の方とのつながりが徐々にできてきていますが、まだ充分ではありません。地域に開かれた事業所になるよう、これからも努力いたします。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	0	マニュアルを策定し、研修を実施しています。	マニュアルの確認や見直しをこれからも続けていきます。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	毎月 1 回、避難訓練を実施しています。	様々な事態を想定し、常に緊張感をもって訓練を行っています。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	0	主に面談やアセスメント時に確認を行っています。	保護者の方との連絡を密にし、お子さんの体調の変化を確実につかむよう努めます。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	3	アレルギーのあるお子さんについては、細心の注意を払っております。	医師の指示書についても、必要なお子さんについては確認して対応してまいります。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	1	1 無答 2	お子さんの飛び出しについての対応マニュアルは作成中です。	飛び出し以外の事例も生じうるので、他校の例も参考にしながら、今後作成していきます。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	マニュアルを策定し、研修を実施しています。	外部で行われる研修にも積極的に参加し、理解を深めていきます。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に	2	1 無答 1	マニュアルを策定し、研修を実施しています。保護者	どのような事態の発生がありうるのか、具体的に検討し、対

	説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している			の方には、契約時に虐待防止について説明する時間をとっています。	処法を考えていくことを今後も継続して行っています。
--	----------------------------	--	--	---------------------------------	---------------------------

**保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）**

公表：平成 31年 1月 26日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」北長野校      保護者等数（児童数） 2      回収数 2      割合 100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2	0	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	2	0	0	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	0	0	0		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2	0	0	0		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	2	0	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	2	0	0	0		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2	0	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	2	0	0	0		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	0	2		お子さん同士のこのような交流は、今のところ行っておりません。今後検討していきます。



保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	2	0	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	2	0	0	0		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	1	0	0	1		保護者の方のお困り感に対して支援できるよう、相談しやすい雰囲気づくりに努めます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	2	0	0	0		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	1	0	0	1		フィードバックの時間だけでなく、支援前や、支援中に支援のない指導員がお話を伺う機会を持つなど、お話を伺う機会を増やすよう心掛けます。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の連携が支援されているか	0	0	0	2		保護者の方の連携の支援は、まだ具体化していません。他校の例も参考にしながら今後検討していきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	2	0	0	0		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2	0	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	1	0	0	1		ブログを定期的に更新しています。保護者の方にも見ていただけるよう、積極的にお知らせしていきます。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	1	0	0	1		個人情報管理には留意しております。ただ、これで充分ということではなく、今後とも管理を

								徹底すべく努力していきます。
非常時等の対応	㉑	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	1	0	0	1		これまで職員のみでマニュアルに沿った訓練を行ってきました。その様子を保護者の方にも知っていただくために、ブログで公開することも考えていきます。
	㉒	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1	0	0	1		月1回、様々な災害を想定した避難訓練を実施しています。その様子をブログなどでお知らせすることも今後考えていきます。
満足度	㉓	子どもは通所を楽しみにしているか	2	0	0	0		
	㉔	事業所の支援に満足しているか	2	0	0	0		